

浄水処理ワークショップ

“一緒に課題を解決しませんか？”

ご 案 内

あなたの地域でも開催しませんか？

公益財団法人 水道技術研究センター



水道技術研究センターでは、高濁度原水への対応方法に加え、水質管理の経験が浅い技術者の学習の一助となるよう、濁度管理の必須要件や基本原則等を整理した「高濁度原水への対応の手引き」を平成 26 年 6 月に公表しました。

現在、当センターでは、この手引きを活用し、水道事業体が抱える人員不足や技術継承等の課題を解決するための糸口として「浄水処理ワークショップ “一緒に課題を解決しませんか？”」を年に 3～4 回開催しているところです。

なお、平成 30 年度からは、緩速ろ過の維持管理等について課題を抱えている事業体が多いという調査結果を受け、緩速ろ過についても、テーマとして考えています。

ポイント

- ・主な対象：水道事業体の職員等
- ・参加方法：都道府県単位で募集
- ・参 加 料：無料
- ・定 員：30 名程度の少人数形式
- ・主 催：水道技術研究センター
- ・協 力：水道行政部局等
- ・会 場：浄水場
- ・時 間：13:00～16:30

内 容

- ・参加者が抱えている課題等の改善に向けた参加者同士の“意見交換”
- ・手引き等を教材とする実務に即した“講習”
- ・具体的な課題改善を見出すための“浄水場見学”（希望者のみ）

※浄水場見学希望の場合は 11 時頃開始

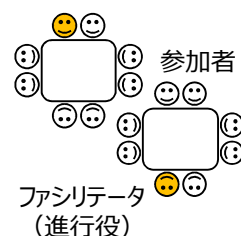
浄水処理ワークショップとは？

本ワークショップは、主に水道事業体職員（水道行政担当職員を含む）を対象として、浄水処理の課題改善の支援をはじめ、他事業体職員との情報交換や人脈形成の場の提供を目的に、当センターが主催するものです。

本ワークショップでは、主に浄水処理について参加者が抱えている課題等の改善に向けた参加者同士の意見交換、「高濁度原水への対応の手引き」をはじめとする各地域の特徴に合わせた講習を行います。

平成 29 年度は青森県、栃木県、山形県の水道行政主管部局及び地域の核となる水道事業体の後援・協力を得て、道県単位で参加者を募集し、ワークショップを実施しました。

【意見交換のイメージ】



浄水処理ワークショップ “一緒に課題を解決しませんか？” ご 案 内

あなたの地域でも開催しませんか？

浄水処理ワークショップのコンテンツ

💧 課題解決に向けた意見交換会（2 時間程度）



他の水道事業体職員等との情報交換や人脈形成の場の提供を目的に行います。参加者同士で課題を共有し、その解決に向けた情報交換を行う絶好の機会です。6～7 名のグループに分かれ、グループごとに浄水場の課題事例を提示して共有し、その解決に向けて意見を交換します。ファシリテーターとして当センター職員を各グループに配置し、司会進行などを行います。

💧 「各地域の特徴」に合わせた講習（1 時間程度）

当センターでは、平成 26 年 6 月に公表した「高濁度原水への対応の手引き」^注を用いた講習をはじめとし、「水質管理の基礎」、「活性炭の使用方法」、「かび臭対策」、「膜・紫外線導入に向けて」など、計 16 項目の講習メニューを準備しています。課題・お悩み解決の糸口となるよう、各地域のニーズに合わせて題目を選定し、講習します。



注）平成 23 年度～25 年度厚生労働科学研究費補助金による研究成果として取りまとめたものです。

💧 浄水場見学（1 時間程度）※希望者のみ



浄水場（急速ろ過方式）を見学しながら、浄水処理の課題改善事例を学びます。他の水道事業体で工夫した点などについて、説明を聞きながら実際に目で見る事ができる学習型の浄水場見学です。

当センターでは浄水処理ワークショップの開催に協力していただける事業体を募集しています。
参加のご要望についても お気軽にお問い合わせください。



公益財団法人 水道技術研究センター 浄水技術部
〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-28 K.I.S飯田橋ビル7F
Tel: 03-5805-0262 Fax: 03-5805-0265
<https://www.jwrc-net.or.jp/>

JWRC 私たちは、水の未来を考えています
水道技術研究センター Thinking Water, Designing for the Future